

1-3) よくとれる！ 大きいいちご「空知35号」

道総研 花・野菜技術センター 研究部 花き野菜グループ、生産環境グループ

1. はじめに

北海道のいちご生産において、主に4~7月に市場消費用として供給される春どりいちごは、重要な地位を占めている。春どりいちご栽培の現在の主要品種「けんたろう」は、その果実品質の良さから市場の評価が高い。一方、収量性が不十分であることが指摘されており、大果性や収穫期後半の小玉化の改善を求める声が強い。また、産地では生産者の高齢化が進んでおり、収穫作業の省力化が課題となっている。このため、花・野菜技術センターでは、「けんたろう」並の果実品質を有する春どり栽培向け多収性いちご品種の育成に取り組んだ。

2. 育成経過

「空知35号」は、「けんたろう」並の果実品質を有する春どり栽培向け多収性品種の育成を目標に、「福岡S6号」(商標：あまおう)を母、「けんたろう」を父として、平成21年に人工交配を行い、その後選抜、育成した品種である。

3. 特性の概要

- 1) 「けんたろう」に比べ大果で、規格内収量がやや多い(図1、表1)。
- 2) 「けんたろう」より生食用で求められる高単価な規格(L以上)の割合が高い(図2)。
- 3) 収穫期後半においても「けんたろう」より一果重が重い。このため、小果が少なく規格内率が高い(表1)。
- 4) やや多収でありながら、総収穫果数が「けんたろう」より少なく、収穫作業の省力化が見込まれる(表1)。
- 5) 「けんたろう」に比べ収穫初期の奇形果収量が多い。
- 6) 果形が短円錐、果皮色は鮮橙赤~明橙赤で「けんたろう」と異なるが、果実外観および食味は総

合的に「けんたろう」と同等である(表2、図3)。

- 7) 果実中心部の空洞は「けんたろう」に比べやや大きい。日持ち性は同等である(表2)。
- 8) 収穫期の生育は、葉数は「けんたろう」と同等であり、葉柄長が長く、小葉がやや大きいため、草丈は高い。果房数は少ない。草姿は「けんたろう」と同様に中間である。
- 9) 開花始期、収穫始期は「けんたろう」と同等である。
- 10) いちご生産に大きな被害を与えている土壌病害に対して、疫病抵抗性は「けんたろう」並みの「中」である。萎黄病および萎凋病抵抗性は「けんたろう」より強い「中」である。
- 11) 灰色かび病およびうどんこ病の果実における発病は、適正な防除下では「けんたろう」と同様に少ない。
- 12) 休眠覚醒に必要な低温(5℃以下)遭遇時間は800時間程度で、「けんたろう」より短く、「宝交早生」と同程度である。

4. 普及態度

「空知35号」は市場出荷を中心として、収穫作業の省力化を目指す産地において「けんたろう」に置き換わることで、春季の道産いちごの安定供給に寄与する。

- 1) 普及対象地域：全道のいちご栽培地域
- 2) 普及見込み面積：18ha(春どり栽培作付面積35haの50%)
- 3) 栽培上の注意
本成績は無加温半促成作型におけるものである。

【用語解説】

無加温半促成作型:春どりいちご栽培の主要作型。
8月下旬頃に苗を圃場に定植し、マルチに加え翌春にハウスおよびトンネルにより保温して、5~6月に果実を収穫する栽培体系。

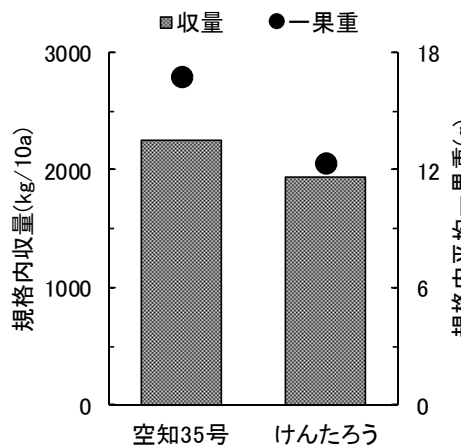


図1. 「空知35号」の収量、一果重
 注) 農試、現地試験結果の平均値(平成25～27年、n=11)。

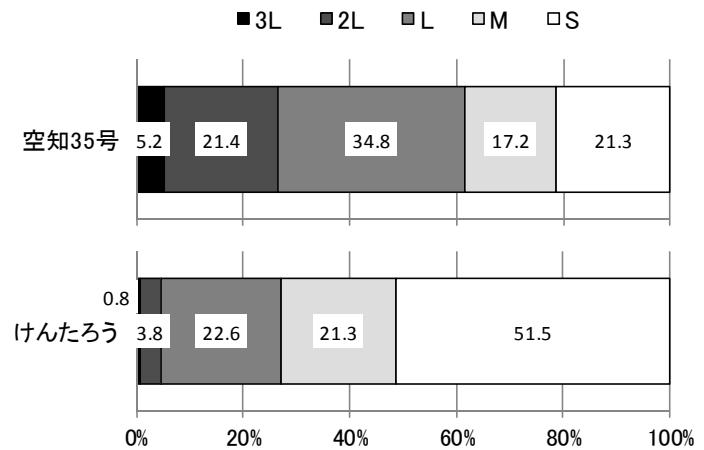


図2. 規格別収量割合
 注) 育成場における平成25～27年の平均値。「3L」は30g以上、「2L」は22g以上30g未満、「L」は15g以上22g未満、「M」は12g以上15g未満、「S」は7g以上12g未満の正形果。

表1. 育成場における収量成績

品種名	規格内収量 (kg/10a)	対けんたろう比 (%)	奇形果収量 (kg/10a)	小果収量 (kg/10a)	規格内率 ¹⁾ (%)	総収穫果数 (千個/10a)	規格内果数 (千個/10a)	規格内平均一果重 (g)	対けんたろう比 (%)
空知35号	2164	118	289	239	74.5	205	130	16.7	131
けんたろう	1826	100	167	680	65.0	326	141	12.7	100

平成25～27年の平均値。

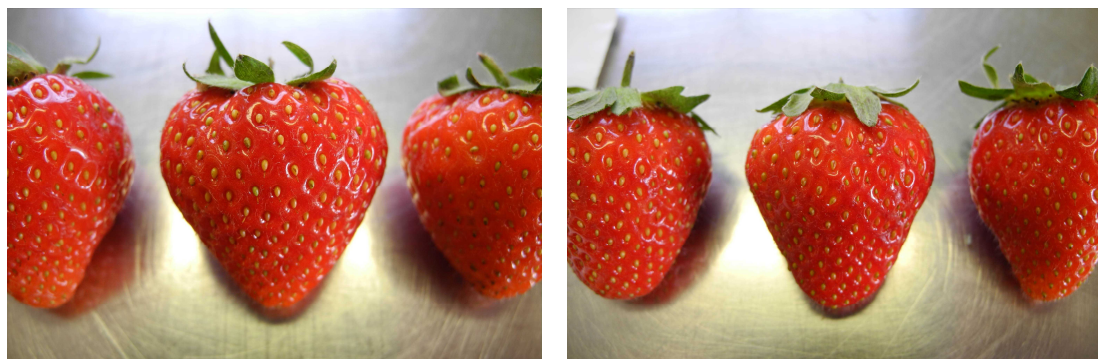
1) 規格内収量/総収量 × 100

表2. 「空知35号」の果実品質

品種名	果形	果皮色 ¹⁾	外観総合 ²⁾	空洞 ³⁾	Brix (%)	酸度 (%)	食味総合 ²⁾	日持ち性 ⁴⁾
空知35号	短円錐	鮮橙赤～明橙赤	3.3	3.1	9.1	0.47	3.1	3.8
けんたろう	円錐	鮮橙赤	3.0	4.2	9.4	0.47	3.0	3.3

農試、現地試験結果の平均値(平成25～27年、n=11、酸度のみn=5)。果皮色、日持ち性は試験地により調査方法が異なるため育成場の試験結果を掲載。

1) 日本園芸植物標準色票により調査 2) 5:良～3:標準品種並～1:不良 3) 5:無～1:大 4) 日持ち日数(日)



「空知35号」

「けんたろう」

図3. 果実外観

(平成25年6月8日、花・野菜技術センター)